

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	スポーツマネジメント概論	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツ健康学科	コース名	スポーツビジネスコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	毎回資料をプロジェクターで投影します。参考書・参考資料等は、授業中に指示します。				
担当教員情報					
担当教員	永野和雄		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
身近にあるスポーツをマネジメントする手法について多様な観点から考察し理解を深めます。より多くの人々がスポーツを楽しみ、ウェルネスの観点から健康増進に役立てるための方法とその実現の仕組みを考えていきます。マネジメントの枠組みを通して、スポーツを経営として成立させる方法、地域の活性化や交流人口の増大、体育の授業や部活動を成功させるための手法について考察を深め理解することを学習の目的とします。					
到達目標					
1. 個々人が自分の将来を見つめ、自己の興味・関心と結びつけてどのような社会貢献をしようかを理解します。 2. スポーツマネジメントの全体像と具体的な内容について理解し実際に適用できるようにします。 3. スポーツマネジメントに必要な知識を体感することで習得します。					
教育方法等					
授業概要	スポーツマネジメントに関する最新のトピックスを事例に討議を進めていきます。「スポーツと企業経営」、「スポーツと学校教育」、「スポーツと地域」などのテーマについて、1 講義・話題提供、2 演習・課題作成、のサイクルで学習を進めていきます。				
注意点	学生間および教員とのコミュニケーションを重視します。課題や実習を通じて積極的に参加することで、授業そのものを主体化します。なお、授業時間数の4分の3以上を出席しない学生は定期試験を受験することができません。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価します。		
	平常点	20%	積極的な授業参加、授業態度、授業への貢献によって評価します。		
	出席率	10%	授業への出席回数、遅刻の回数を評価に加味します（授業時間数の4分の3以上の出席が前提）。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	スポーツマネジメントとは何か		スポーツマネジメントの概念定義、機能、適用範囲を理解します。		
2回	スポーツマネジメントと人材1		具体的事例をもとに人材育成やリーダーシップ、チームビルディング等の知見について理解・習得します。		
3回	スポーツマネジメントと人材2		具体的事例をもとに人材育成やリーダーシップ、チームビルディング等の知見について理解・習得します。		
4回	スポーツマネジメントと人材3		具体的事例をもとに人材育成やリーダーシップ、チームビルディング等の知見について理解・習得します。		
5回	スポーツマネジメントと戦略1		スポーツマネジメントの領域、戦略思考、リスク管理、SDGsとの関連などについて理解・習得します。		
6回	スポーツマネジメントと戦略2		スポーツマネジメントの領域、戦略思考、リスク管理、SDGsとの関連などについて理解・習得します。		
7回	スポーツマネジメントと戦略3		スポーツマネジメントの領域、戦略思考、リスク管理、SDGsとの関連などについて理解・習得します。		
8回	スポーツマネジメントと思考1		スポーツマネジメントに必要な分析、問題解決、発想法を理解・習得します。		
9回	スポーツマネジメントと思考2		スポーツマネジメントに必要な分析、問題解決、発想法を理解・習得します。		
10回	スポーツマネジメントと思考3		スポーツマネジメントに必要な分析、問題解決、発想法を理解・習得します。		
11回	スポーツマネジメントと会計1		スポーツマネジメントを行う際に必要となる会計知識、事業収支計算を理解・習得します。		
12回	スポーツマネジメントと会計2		スポーツマネジメントを行う際に必要となる会計知識、事業収支計算を理解・習得します。		
13回	スポーツマネジメントと会計3		スポーツマネジメントを行う際に必要となる会計知識、事業収支計算を理解・習得します。		
14回	スポーツマネジメントの適用1		学んだ手法を用いスポーツマネジメント手法の実践的な適用方法を理解・習得します。		
15回	スポーツマネジメントの適用2		学んだ手法を用いスポーツマネジメント手法の実践的な適用方法を理解・習得します。		